元・奈良テレビアナウンサー 無所属

奈良県議会議員（奈良市・山辺郡選挙区選出）

No.09
（2025.11.1発行）

伊藤まさやの県政フレッシュ

議会活動報告

発行:伊藤まさや事務所
〒630-8241
奈良市高天町38-5 佐川第一ビル403

9月県議会 常に県民目線！「一般質問」

9月17日から10月24日まで、9月県議会が開かれました。3会期連続で「一般質問」に登壇。「弱い立場にある人を支える」をテーマに、4つの質問をしました。今回も分かりやすく紹介します。

本会議の一般質問の様子はこちらから

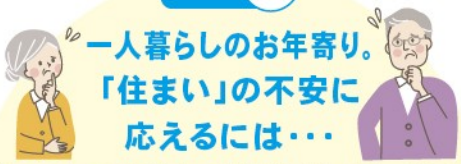
質問 1

奨学金を借りる高校生がいることを知っていますか?

山下知事は、就任してから、高校授業料の実質無償化など、教育費の負担軽減を進めてきましたが、「奨学金」を借りる（例:公立高校で自宅通学の場合、月に1万8000円）高校生を育てる、所得が低い世帯の教育費の負担についてどのような考えを持っていますか?

質問 2

一人暮らしのお年寄り。「住まい」の不安に応えるには・・・



お一人の暮らしの高齢者でも、安心して生活できるように、様々なニーズや経済状況、地域の実情に応じた「住まい」を、整備していく必要があると考えますが、どのように取り組んでいきますか?

質問 3

「線状降水帯」発生時の防災体制を考える

「線状降水帯」による大雨が、近年増加しており、各地で、大きな被害を出しています。奈良県では、線状降水帯の発生による大雨に対して、どのような防災体制で、対応しようとしていますか。

質問 4

手話や音訳の役割、とても大切なんです

視覚や聴覚に障害のある方を支援するために、手話通訳者や、音訳などができる人を、どのように養成していきますか。また、音訳や点訳では、多くのボランティアに、活動をお願いしています。そのボランティアへの支援については、どう考えますか。

一般質問の回答は、裏面をご覧ください!

県議会事務局提供

伊藤まさやの県政フレッシュ

9月県議会一般質問 奈良県の回答

本会議の一般質問の様子はこちらから

伊藤の質問
奨学金を借りる高校生がいることを知っていますか？

県の回答 子育て世帯において大きな割合を占める教育費負担の軽減施策については、様々な制度が、年々充実してきている。県としても、国の制度拡充の動きを注視しつつ、経済的に困難な状況に置かれている世帯に対する支援の充実に取り組んでいきたい。

伊藤から一言 低所得世帯の高校生も、安心して進路選択ができる、奈良県独自の制度設計を考えていただきたい!

伊藤の質問
一人暮らしのお年寄り。「住まい」の不安に応えるには・・・

県の回答 民間賃貸住宅に入居したいが、高齢であることを理由に入居を断られるといったことも近年課題となっている。これに対しては、入居後の見守りサポートと組み合わせることで大家の入居拒否感を軽減し、円滑な入居を支援する取組みを促進しているところ。さらに、このような賃貸住宅を「居住サポート住宅」として認定する制度を、今年10月に開始することとしている。また、高齢者の住まいについての取り組みについて、今年度、新たに県民調査を実施し、その結果を、来年度策定する第10期介護保険事業支援計画に反映する予定。

伊藤の質問
「線状降水帯」発生時の防災体制を考える

県の回答 今後は、予測精度の向上を受け、「線状降水帯」の半日前予測が公表された場合、適切なタイミングで警戒体制をとることを判断。実際に線状降水帯が発生した時は、災害警戒本部を設置する。警戒体制をとった場合は、警察、消防、自衛隊及び市町村などと情報共有を行い、仮に大きな災害となった場合でも、災害対策本部の迅速な設置により、被害の最小化に努めていく。

伊藤の質問
手話や音訳の役割、とても大切なんです

県の回答 手話通訳者や音訳者などの役割は大きく、県では、人材を養成するため、毎年度研修を実施している。音訳や点訳については、正確な情報を伝えるための専門的な技術が必要であり、無報酬のボランティアで担っていただいている皆様には、大変感謝している。
その支援については、ボランティア団体と連携し、より活動しやすい環境づくりに努めたい。

県議会事務局提供

伊藤まさやは多様な声を聴く「無所属」の県議会議員です。
（県議会会派は自民党係）

伊藤公式SNS
ホームページ エックス フェイスブック ユーチューブ

皆様の声お寄せください

伊藤まさや事務所
〒630-8241
奈良県奈良市高天町38-5
佐川第一ビル403号室
メール:info@itomasaya.nara.jp